

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	5K006			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	しゃべっていいとも中国語トータル版：陳 淑梅、劉 光赤：朝日出版社：978-4-255-45238-8 c1087						
担当教員	謝 志海						
到達目標							
☐ 中国語の基礎知識（発音、文法）を習得することができる。 ☐ 初級程度の会話力を身につけることができる。 ☐ 教科書の表現や構文を使って、基礎的な中国語のコミュニケーションができる。 ☐ 中国語の単語の発音、基礎会話等を、教科書本文の朗読CDを聞きながら自らも発音できるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	声調、母音、子音を理解し発音できる。また違いを聞きとれる			声調、母音、子音を理解し発音できる。		声調、母音、子音の区別が理解できていない	
評価項目2	中国語で基本文章を表現でき、さらに応用ができる			中国語で短文が作れる		中国語で文章が作れない	
評価項目3	中国語で基本会話ができ、さらに自由会話ができる			簡単な日常会話できる。		基本会話ができない	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 E-1							
教育方法等							
概要	本科目は学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。 本授業は学生個々人の学習活動に重点を置く。 ・発音、基本文法についてテキスト中心に解説。 ・会話の基本表現を学ぶ。 ・グループ分けて、学生同士の間で中国語の日常会話の練習。 ・テキストに関連した中国の生活・習慣・文化について解説。						
授業の進め方・方法	講義形式であるが、学生に発音・会話練習をさせる。CDプレーヤーを使って、ヒアリングの練習させる。						
注意点	教科書やCDを活かして、予習・復習をしっかりと、授業を積極的に参加してもらって、基本的な中国語の会話能力を養って行こう。 【事前に行う準備学習】 授業毎に、次の授業までに準備しておくべきことを具体的に指示するので、予習してきてください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	文法と会話応用		時刻の言い方、動詞、形容詞、名詞述語文、関連会話練習		
		2週	文法と会話応用		時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞、関連会話練習		
		3週	前置詞、助動詞と会話応用		動作の対象を表す前置詞、助動詞、許可を求める言い方、関連会話練習		
		4週	動作進行、可能態、初級会話		動作行為の進行を表す表現、可能を表す助動詞、関連会話練習		
		5週	二重目的語、初級会話		二重目的語をとる動詞、小短文の読む練習、関連会話練習		
		6週	経験態、選択文、初級会話		経験を表す助詞、選択疑問文、関連会話練習		
		7週	必要態、条件文、初級会話		必要を表す助動詞、条件を表す構文、関連会話練習		
		8週	結果補語、会話応用		結果補語、関連会話練習		
	4thQ	9週	様態補語、会話応用		様態補語、関連会話練習		
		10週	比較表現、会話応用		比較表現の前置詞、関連会話練習		
		11週	方向補語、会話応用		方向補語、副詞、数量詞、関連会話練習		
		12週	方向、程度、会話応用		複合方向補語、程度補語、関連会話練習		
		13週	可能補語、会話応用		可能補語、関連会話練習		
		14週	主述述語、受け身表現		会話応主述述語、受け身表現、関連会話練習		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0